

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900057		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート西船橋(2階)		
所在地	千葉県船橋市西船2-34-20		
自己評価作成日	平成26年1月31日	評価結果市町村受理日	平成26年4月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12 みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成26年2月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様が安心して生活できるよう、スタッフの明るい笑顔と誠意ある対応で安心を提供できるよう心がけております。
当地域には、自治会がありませんので、小規模のお客様とグループホームのお客様が交流したり、近隣の小学校の生徒の皆さんと定期的に交流するなど、出来るだけ、人と人、人と地域が触れ合える環境を作り、ハリのあるご生活を送って頂けるように心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

お客様・ご家族・地域の「健やかな暮らし」に貢献することを企業理念として掲げ、地域に密着したサービスを提供していくためには、地域の協力が不可欠であることを全職員に周知し、地域に根ざしたサービスが提供できるよう取り組んでいる。今年度は法人ホームページ内にある当事業所のブログを定期的に更新し、日々の活動内容や行事の様子を積極的に公開し、利用者家族や地域の方々に事業所情報を提供する事ができている。また日々の支援においても、ユニット間の職員が連携し、外出支援にも力を入れるなど、戸外活動を通じて利用者の生活の幅が広がるように取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是である「お客様、ご家族、地域の健やかな暮らしの貢献する」ための方法を常に考え、地域に密着した事業所を目指しております。	法人の社是、経営理念、心得を事務所に掲示しているほか、地域の協力が不可欠であるため、挨拶の重要性についてを各職員に周知し、地域に密着したサービスが提供できるよう取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を定期開催しており各方面の方々にご参加頂けております。様々な立場からの意見を頂戴し、ガーデンコート西船橋の運営理念を後利可頂けるよう取り組んでおります。	地域に自治会がなく、事業所への理解を頂くためにチラシを作成し近所へ戸別訪問し手渡しで配布するなど多くの努力を行なっている。事業所行事の納涼祭には地域の方の来訪や、小・中学生の職場体験の受け入れも行っている。	チラシの配布や事業所行事へのお誘いを通して地域住民との交流に向け前向きに取り組んでいる。今後に向けてもこれまでの活動を継続し、より交流が深まっていく事に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現状出来ておりません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議内にて現在のご利用者様の状態を数値化し報告するとともに場合によっては個々のケース報告、抱える問題点の提起を行い、構成員の皆様からご意見、ご要望をお伺いしております。	運営推進会議には、地域包括支援センター、提携医療機関、福祉用具メーカー、薬局、歯科医師、民生委員、家族等の参加を受け2カ月に一度開催している。会議では参加者との意見交換を通じ情報収集し、サービス向上につながるよう努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市、地域包括支援センター、地区在宅支援センターへの働きかけを積極的に行い、協力関係を築けるよう取り組んでおります。	市の担当者とは運営上の疑問点を電話で確認したり、生活保護者の受け入れ等で連絡する等、日頃から連絡を密に取り、協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は基本的にはいけない行為だと職員全体に啓蒙しております。施設全面の道路が交通量の割にせまく、稀に無謀な速度の車が通る事があり、ご利用者様の安全確保のため、玄関の施錠を行うことがあります。	内部の研修を通して、身体拘束廃止に関する職員の意識を高めている。センサーマットを使用する際には家族に同意を得ており、行動制限につながらないように取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止(又は身体拘束)について、管理職が研修に参加し、スタッフへ啓蒙しております。		

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご利用者様の生きて行く上での当然の権利主張を円滑に行う為、その必要性を熟知し、活用することのできる支援を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・重要事項説明は必ず地区統括責任者、管理者、ケアマネジャーの内2名以上で行っております。内容の詳細に至るまでご説明し、ご理解、ご納得頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の勤務調整を行い、生活時間帯に必要な職員配置を行っております。ご利用者様、ご家族様からの突発的な事項に関しては間接要員を含めた管理職を中心として対応を行っております。	家族からの意見については、法人独自の顧客満足度調査(年1回)の実施や運営推進会議、来訪時(面会、イベントの開催)、電話連絡時、ケアプランの説明時に意見、要望を聞く機会を設け、それらを運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々、スタッフへの声掛けを行い、ストレスの解消を行えるようにしております。また、折に触れ、疑問や悩みを解消できる機会を設けております。	管理者やリーダー層が中心となり日常的に職員に声を掛け、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。また、拠点会議後(毎月開催)に各ユニットでユニット会議を開催し、業務や支援内容について検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々に合わせた勤務調整の実施を心がけています。体力、生活環境、得手・不得手等、個々の把握を行い「やる気」を持てる業務を中心にシフトしていきます。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画(年間)に基づいた研修ばかりではなく、新規採用者への座学研修、既存スタッフへの座学研修など、その段階に応じた研修を少人数にて行い、認知症介護への理解を深め、スキルアップ出来る機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	船橋市グループホーム協議会へ登録し、他事業所との連携を取ることのできる状況になっております。		

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	出来る限り本人からヒアリングしております。認知症の方ですので、ご家族からのヒアリングも交え聞くようにしています。失語のある方も文字盤を使うなどして対応しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回のお問い合わせの際に、ご家族様の主訴は何かを捕らえ、そこから派生する様々な事案をお聞きするようし、受け止めるようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者、ケアマネジャーを中心に、担当者会議を行い、利用者様、ご家族が必要なサービスを受けられるベストの選択を掴める様ご案内するようにしております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフとご利用者様とが一緒に洗濯をしたり、調理をしたり、食器洗いをしたりと普通の生活を営んでおります。介護されるということではなく、お互いに感謝の気持ちを持ち続けることのできる関係を築くよう努力しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的な行事のご参加を依頼し、ご利用者様や、他のご家族との触れ合いの場を設ける事によって、皆で一緒に支えていくという実感を持っていただけるよう努力しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居後は曜日、常識的な範囲内で時間帯を問わず、家族、友人、知人の訪問を受入れております。	馴染みの場所への外出は難しいが、友人からの電話の取り次ぎや編み物、手芸等これまでの趣味や習慣を活かした支援に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で散歩に出かけたり、レクリエーションをしたりと、ご利用者様同士のコミュニケーションを図るよう支援しております。		

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的な関わりを必要とすご利用者様やご家族には、ケアマネジャーより、定期的に電話にて連絡させて頂き、近況などをお伺いしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様・ご家族様の希望、意向を把握し、それを第一にケアプランを作成し、マネジメントしております。	利用者からの意向については、日頃の会話や表情から一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、また家族等の協力を仰ぎその把握に努めている。困難な場合は、家族に相談の上、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネジャーがモニタリングシートを作成し、スタッフに情報提供することで情報を共有しています。アセスメントシートなどは事務所のスタッフが閲覧しやすい場所に配置し、情報の積極的な収集を促しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや、管理者の定期的な現場への訪問で、左記項目の把握をするようにしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族、ご利用者様、提携医療、ケアマネジャー、管理者、スタッフなどの意見を取り入れて介護計画を作成。実際のケアに組み込んでおります。	利用者の現状や課題、要望等をアセスメントで抽出し、担当者会議、ケースカンファレンスを通して本人、家族、職員の意見を収集し、総合的な意見を踏まえケアプランを作成している。また、毎月モニタリングを行い、達成状況や利用者満足度を確認している。	今後に向けては、担当者会議議事録に担当医の見解も入れ、他職種連携で進めていける事に期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、個人日誌、業務日誌の記録を行い、内容を管理者がチェックしております。スタッフが共有すべき事柄は申し送りノートに記録し、情報共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日頃からご要望を連絡していただけるようお願いしており、出来る限りの要望に対応するようにしております。		

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現状は地域資源の活用といったことが出来ていません。(近くの小学校、中学校との交流はあり)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様の中で認知症の専門医の診療が必要な方、ご家族がご要望された方に関しては、ケアマネジャーより医療機関に連絡をすることによって、適切な支援を行なっています。	提携医療機関の往診を月2回受け入れている。医療機関とは24時間連絡が取れる体制にあり、急変時にも迅速な対応が図れる体制である。また提携先以外にも利用者が希望する医療機関にかかることも可能である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内の状態を書面にし通院等で適切な看護を受けられるよう情報提供を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様の主治医、各病院のソーシャルワーカー(市内及び近隣の病院)との関係を密接にとっています。ご利用者様が入院の際には、入院先の医師・病棟看護師に直接情報提供を行い、安心して過せるような支援を行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	左記の通り実施しています。	重度化や終末期に向けた方針に関しては、出来る限り早い段階から事業所のできることを説明している。ホームで生活していく中で重度化が見られる場合は、家族、主治医を交え、今後の支援方針を検討することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ会議などで情報の共有を図り、マニュアルを作成、ファイリングしてフロア内に保管してあります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間避難訓練、消防訓練は年度研修計画にて実施しております。地域住民の方々への働きかけは今後も課題とさせていただきます。	消防訓練は年2回実施しており、消防署と連携した夜間想定避難訓練のほか、訓練後防災DVDを鑑賞している。3月には消防署と連携した昼間の避難訓練を予定している。地域の方に訓練の参加を依頼している状況である。	災害時を想定した備蓄品の確保及び事業所周辺の水害状況についても把握されることに期待したい。

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	実施しています。	内部研修において「接遇マナー」や「就業倫理」について実施している。会社方針として利用者は「お客様」であり、そのお客様に対し適切な言葉遣いや接遇が図れるように会議や申し送り時に職員に周知している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思決定に問題のない方はもちろんのこと、何らかの障害がある場合は、理解する方法(文字盤の利用など)を活用し、自己決定の機会を設けることのできる支援を行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様が入所される前に暮らしていた普通の暮らしをホーム内でも実現できるよう、「見守り」を重視し、「待つ」ことのできるケアを方針として打ち出しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を定期的に予約し、ご利用頂いております。また、ご自分で整容をされるかはご自身の意志にお任せし、行為自体に障害が伴う方は、介助にて行っております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様と同じ昼食をスタッフも共に摂り、楽しい食事時間となっております。また、行事で植えた野菜を収穫し、食事に盛り込んだり、スタッフとご利用者様一緒に調理や食器洗いを行ったりしています。	利用者一人ひとりが出来る範囲で協力しながら、職員と一緒に、食材の皮むきや食器洗い等を行っている。食材は宅配で届くが、利用者の好みや状態に合わせてミキサー食、とろみ食にて提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量はその都度チェックし、記録に残すようにしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お客様全員にハブラシを持参してもらい、食後は必ず声掛けをして、口腔ケアを行って頂いております。		

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	便意、尿意の意思表示ができる方に関しては、意思表示を必ずしていただくようケアをし、できない方に関しては、定期的な誘導を行なうことによって支援を行なっています。	個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンを共有している。排泄の支援では、定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給(1日に1200～1500cc摂取)の目安を表示し実施しております。積極的に散歩への参加を促しております。また、食事の前に嚙下体操や発声練習、ラジオ体操等行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴のチェックシートに実施結果を記入し、入浴予定者をスタッフで考えるようにしております。しかし、ご本人様の意思にそぐわない、体調が悪いなどの理由がある場合はそれに沿ったケアを行なうようにしております。	入浴は、利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回入浴できるように支援している。入浴中は職員が介助につき安全面に十分配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の休息や入眠パターンを把握し、快適な休息、睡眠をとっていただけるよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理については管理者、ケアマネジャーにて管理を行なっております。各ご利用者様の処方薬につきましては薬局からの説明書面を事務所にファイリングをして閲覧できる場所に配置しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様が希望される際にはスタッフと共にレクリエーションの一環として実施しております。また、こちらから集団レクリエーションのお誘いをしたりし、ご利用者様の持てる能力を生かすことのできる環境を提供することとしております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日散歩へのご参加の声がけをし、お客様のご要望を聞き、外出する機会を増やしております。	事業所周辺の散歩や買い物を通して、外出する機会を設けている。また外出行事として、地域のイベントや外食、ショッピングモール等に外出する等、外出できる機会を増やしていけるよう努めている。	

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様の状況を鑑み、場合によってはご自身で所持いただいております。その他自己管理が難しい方に関しては、お小遣いとして当施設にてお預かりをし、ご本人様が使いたいときには自由に使っていただけるケアを行なっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のご希望通りに、事務所内電話をご使用いただけます。手紙もご要望があればお出しいただけます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂にその季節に沿った飾り付けをしたり、ご利用者様の描いたぬりえを掲示したり、行事の写真を貼ったりし、居心地の良い空間演出をしております。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	コミュニティスペースを開放しており、自由にご利用いただけるようにしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	実施しております。	居室は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、利用者が居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には手すりを設置しており、完全バリアフリーになっております。ご利用者様の安全を確保しながら、残存機能を有効利用し、自立した生活が送れるようになっております。		